

回覧

平成28年9月吉日

生実町町内会
角栄自治会 の皆様へ

宗 教 法 人 生 実 神 社
総 代 監 事 秋 元 充
総 代 代 表 大 塚 則 雄
神社守る会会長 秋 元 利 夫

生実神社の創建と土地取得の報告

町内の皆様には、平素生実神社に対し格段のご支援、ご協力を頂きます事心より厚く御礼申し上げます。

生実神社創建は、永禄7年(西暦1550年)原氏4代胤貞が国府台の戦いで勝利して以後南生実城を廃城し生実に築城以後創建されたと思われます。

天正18年(西暦1590年)豊臣・徳川連合によって小田原攻めが始まり、この戦いに生実城主原胤栄は小田原側につき敗れ、生実町は徳川の領地となり、その後寛永年間まで3代の代官が納めましたが、寛永4年(西暦1627年)森川重俊公は幕府より生実1万石を拝領し晋代代名となり原氏の守神(御霊社)であった生実神社を手厚く保護し、明治まで続けました。明治5年以後は生実町305戸の神社として、以後は氏子数も増え現在にいたっております。その中で、神社の領した土地(田、畑)は昭和23年の農地法により、解放され更に昭和40年代には山林等も売却され丸裸となりましたが、平成4年鶴野沢 澤氏より隣接地旧城の堀の一部360坪を寄贈して頂きました。この堀は生実町の文化財として保護して参ります。又、この度、神社隣接地北側土地317.77㎡(約96.12坪)を取得する事が出来ました。地権者の方にはご協力厚く御礼申し上げます。

尚、購入につきましては監事、総代役員、神社守る会の方々と検討した結果神社の土地続きでもあり利用価値を考え購入致しました。兼ねてより神社には駐車場がなく参拝者、来客者の方々に大変不便を感じております。今後駐車場として利用したいと思っております。皆様のご理解の程宜しくお願い致します。